神戸新聞社　震災の授業を受けての感想

私は神戸新聞社さんの話を聞いて本当にたいへんだったていうのが伝わってきました今後自分が合う大きな地震は南海トラフ地震だと思うけどもし起こったら生きて残れるよう対策などしておきたいなと思いました

今日授業を受けて、石川県の能登半島地震の事とも照らし合わせていたのですごく分かりやすかったです。地震が起きた当時のことをくわしくおっしゃっていたので当時のじょうけいが頭の中に少し浮かびました。いい勉強になったと思います。　質問：地震が起きた時の感じはどんなかんじでしたか。例（トランポリンではねていた感じ...などなど

話が分かりやすく写真など実際の物たから迫力があった。ここで質問で震災に時は家族が生きていると分かったのはどれくらいかかりましたか？

今日の授業で、阪神淡路大震災の事や、石川県で起きた震災の怖さが良く分かりました。今日は特に、阪神淡路大震災の事を良く知れました。沢山の怖い経験など、貴重な体験が聞けました。新聞記者さんは、地震に会っても京都新聞社さんと一緒に地震と戦い、生活が苦しくても皆のために新聞を出していて凄いなと思いました。

震災のことを話してくれた人が大震災の経験を教えてくれて思ったことは、いつ地震が起こるかわからないから、もし地震が起きてもできるだけ冷静になって、何をもっていったらいいかとか、周りの情報とかを頼りにしていこうと思いました。

意味が分かりやすいように言ってくれたのでいつもならわからないけど多分こういう意味なんだとおもっていたけど、意味が分かったので聞きやすかったです。まだわからないところは、ずいぶんあるのでまた教えてください。
質問です。たくさん仕事して、眠たくないですか。

今日の授業で、阪神・淡路大震災や、能登半島地震などの震災がどれだけ怖いかがよくわかりました。そのときの写真もあってわかりやすかったです。いつ大きな南海トラフ巨大地震みたいなのが来るのかわからないので、防災マップやリュックサックをつくっていたいと改めて思いました。

今日この授業を受けて、阪神・淡路大震災と能登半島地震は似ているところと違うところがあり、震度５弱以上の地震が増えていて南海トラフ地震が近づいてこわいなと思いました。

お母さんが当時住んでいたところが須磨水の近くで、海もめちゃめちゃ近くだったけど阪神・淡路大震災多分津波が来ていなかったのでよかったなと思いました。阪神の高速道路が倒れていて危険だし怖いな。と思いました。２０２４年１月１日に石川県能登半島で最大震度７の地震が起き、珠洲市などでは津波が来て東日本大震災のようだなと思いました。３０年以内に南海トラフ地震が来ると予想されているので家族でハザードマップを確認して、もし別々でいるときに大きな地震が来たときはどこで集合かを改めて確認しようと思いました。

今日すでに習っていたとこもあったけど実際にいた人の話を聞いて元々想像でどんなんやったか考えてたけど実際はもっと残酷だったのですごく南海トラフがもっと怖くなりました

今日震災のことを教えてもらって思ったことは最近能登半島地震があって阪神淡路大震災と似てることがあることを知れてよかったです。もしかしたら南海トラフ地震が今日来たりするかもしれないので気を

付けていきたいと思いました。

神戸新聞の記者さんの話を聞いて、最近あった地震に被害を受けていないけど、阪神・淡路大震災であったように多くの人が大切な人をなくしたり被害にあったりしていたことを詳しく知れて地震の怖さがわかりました。神戸新聞の人たちは、地震にあっても被災した人のために今の状況を京都新聞社と協力して新聞を作ってくれていたので被害にあった読者の人は、今の状況がわかるだけでなく神戸新聞社は自分たちのために頑張ってくれたんだなと心強くなると思いました。私も、いつでも地震が起きてもおかしくないと考えて過ごしたいです。

新聞社の方のお話を聞いていろいろなことを知れてよかったです。毎年地震のことは習っているけどまだまだ知らないことがあってびっくりしました。能登半島地震があったとき、僕は珠洲市という所にいたので、今日の話をしっかり聞いて次、地震が来た時に対応できるよう、頑張っていこうと思いました。地震はどうしても避けられないから、「地震なんて来るなー」じゃなく、地震が来ても大丈夫なようにしたいなと思った。

受け継ぐというところに焦点を当ててお話ししてもらい三好さん本人の体験も入っていてとても分かりやすかったです。今日思った中で３時ごろに起こった火災は三好さんの命を救ったものなのだと感じました。体験を後世へと繋げていく活動をすることはのちに起こる南海トラフ地震にもつながるということも分かったですし、地震という自然災害にそなえみずからの命を守る行動にもつながると思うので、この震災授業を糧に地震に対する対策などをしようと思います。

私は、毎年１月になったら阪神淡路大震災のことを学ぶけど実際に地震を経験して、全壊した神戸新聞社の中にいた人の話は聞いたことがなかったので言葉に重みがあって本当に大変だったんだなと思いました。私たちの世代はまだとても大きな地震は経験してなく、南海トラフ地震が来てしまうので、今までの経験を活かしたいです。

今回の授業で分かったことがあります。僕たち今楽しく幸せに生きれているのは神戸の亡くなった人や復興に力を貸してくれた人だと思います。他県からもたくさんの人々が協力してくれたおかげでこの美しい神戸になってきたんだと思います。亡くなった人々の分まで毎日を大切に生きてこの「幸せ運べるように」を歌い未来にもつなげていきたいと思いました。今も能登半島地震が起きていて支援をしている人はすごいなぁと思いました。

今日、三好さんに阪神淡路大震災の時の話を聞いて、震災のことはだいたい授業で分かったと思っていたけれど実際に経験した三好さんの話を聞いてビルの窓が全壊したり大きなビルが倒れたり建物が全壊したり本当に大変だったんだなと思いました。

阪神淡路大震災の時の事を詳しく教えてくれてありがとうございます！僕は、阪神淡路大震災みたいな大きな地震はもう来てほしくありません。それは、みんなもだと思うけど人がたくさん死んじゃうのが嫌だからです。これもみんなもだと思うけど、人の命は１個しかなくて命を落としてしまったらもうこの世界には戻れないから災害とか殺害などで殺されたり死んじゃったりしたらもったいないと思います。だから僕は、地震によって死んでしまった人の命や想いがまた戻ってほしいとお思いました。その人とたくさんお話ししてその時の事をたくさん話したいです。こうゆう機会をもっと増やしてこの事を受け継いでいきたいです。今日はありがとうございました！

元旦の石川の地震と阪神・淡路大震災と同じ震度７がきて阪神のほうが大きいと思ってた石川の地震が阪神の地震より３倍もすごい地震だったことがびっくりしました。阪神の地震と似たようなところがあってとても地震は残酷なものだと思いました。

阪神・淡路大震災をずっと勉強してきたけど、実際に地震を体験した人の話を聞くことがあまりなかったので、その時のことなどが詳しく知れてよかったです。能登半島地震は阪神淡路大震災よりマグニチュードが大きいけど、今までに大きな地震があったことで被害が小さくなったのに、空き巣をしたりするのは最低だなと思いました。

自分が被災しても後世の人に伝えるために取材を続けるのはとてもかっこいいなと思いました。

阪神・淡路大震災の被害などは知っていることもあったけどビルがゆっくり倒れていったなどの動きは知らなかったからどういった状況だったかなどがよくわかった。教科書などにのっていない人々の気持ちや苦しさが伝わってきた。ありがとうございました。
地震の時どこに逃げたらいいかなどをおうちの人と話し合う機会になったし地震の恐ろしさを大人になった時忘れないようにしようと思います。忙しい中横尾小学校に来てくれてありがとうございました。

能登半島地震と阪神淡路大震災はとても似ているなと思いました。阪神淡路大震災の時に取材をして聞いたことも新聞に書いてみんなに配った新聞社の人たちはすごいと思いました。

私は実際に大きな地震にあったことはないけれど、話を聞いているだけで震災の恐ろしさについてよくわかりました。それも、直接地震で亡くならずに、避難所で病気になって死んだりする人もいるんだということを知りました。震災が起きた時の冷静な判断が大事だと思ったし新聞社のひともすごく必死に新聞を届けてくれていたんだなとおもいました。

三好さんは悲しい思い出もあったのに阪神淡路大震災であったことをとても詳しく教えてくださってすごく参考になりました。私は実際に体験していないけど、三好さんのようにこれから生まれてくる子達に阪神淡路大震災のことを教えて、どんどん次の世代に伝わっていったらいいなと思います。

阪神淡路大震災のことは今までに何回も習ってきたけれど、昨日お話をきいてさらに震災のことを知ることができました。私の家では非常食はあるけれどもしもの時に集まる場所とかを決めていないのでこの機会に話し合ってみようかなと思いました。

大きな震災に巻き込まれることが今まで一度もなかったので光が燃え移った　建物が倒れた　人が沢山亡くなってしまったなど　大体の事しか知らなかったので昨日沢山震災の時の様子など知れて良かったと思えました。

阪神・淡路大震災が、どんなものだったのか、あらためて実感しました。でも、詳しく教えていただけたので、私もこれで次に伝えていくことが出来そうです。南海トラフとかが起こった時のつなみの大きさとかを詳しく教えてくれたので何メートルかわかったし、地震は怖いものって知っているけどはなしを聞いて地震は怖いものだから地震に備えて対策したいと思いました。

阪神淡路大震災が起きたことや、地震が起きた町はどうなったか。などは知っていたけど、その時の新聞を作っていた人達の様子を知れて、携帯などがない時に情報を知るためには、新聞が大切なんだなと改めて思いました。自分たちが生きている間に南海トラフが来ることは知っているから、今のうちにしっかり備えて今まで習ったことを生かしたいです。

震災の事について神戸新聞社の方が教えてくれて、改めて震災当時の事を詳しく知れました。私は新聞社の方たちは震災が起きても被災者の人たちを安心させるためにいろんなところへ取材に行っていてとても被災者たちの支えになっているなと思いました。
わかりやすく教えてくれてありがたかったです。